

南郷里通信 9月号



撮影 / 清水康雄

彼岸花で気づく、秋の到来

秋彼岸の時期になると、待っていたように彼岸花が一齐に開花します。空にまっすぐに伸びる茎、曼殊沙華とも呼ばれる天界の花であることを思い出します。

今年は9月23日を中日としたその前後3日が秋彼岸となります。この日は太陽が真東から昇って、真西に沈む秋分の日で、真西にある“あの世”と繋がりがやくなる日だとも言われるため、彼岸はご先祖様への感謝と供養をする大切な行事になりました。

「夏の暑さも彼岸まで」、今年もこの赤く燃える花を見て秋の到来に気づき、季節の移ろいを感じる瞬間に出会えそうです。

要配慮者支援指導者講習会実施しました

6月10日、くらし安全部会では市の防災危機管理局の安原専門員と社会福祉協議会の山岡地域防災アドバイザーをお迎えして、災害時の支援を必要とする方々を安全に避難援助するための備えとして福祉防災を学ぶ講習会を開催しました。各町より、自治会長・民生委員・福祉委

員を中心とした希望者が、地域における危険箇所の把握と避難場所・安全な避難方法などを可視化する防災マップを作成しました。各自治会で福祉防災の備えが浸透し、災害時に誰でもスムーズに行動できるよう意思統一を図りました。



南郷里子育て広場「はぐみんぐ」

子どもたちの健やかな成長を願い活動しています

地域福祉部会が主催する「はぐみんぐ」は、月2回未就園児対象の子育て広場を開催しています。毎月たくさんの親子に参加していただき、暑い中ですが、子どもたちは元気いっぱい！スタッフが子どもたちを見守り、安心して遊べる環境を整えています。これからも地域の子育てを応援していきます。



七夕まつり



絵の具であそぼう



お口のバイキンマンとバイバイ



リトミック

夏休み、みんなで過ごした「まなびのひろば」

夏休み期間中の小学生の学びの場として平成26年から始まった事業で、今年10年目を迎えました。6日間延べ232人の子どもたちが参加し、宿題や自主学習に取り組みました。今年スタッフとして協力してくれた高校生の中には、小学生の時にまなびのひろばに参加していた人も数人いて、とてもうれしく思いました。

また、今年は子ども食堂を2日間開催し、フルーツポンチやパタパタおにぎりを自分たちで作る体験もしました。

地域のボランティアや学生スタッフの皆さんのおかげで、無事終わることができました。ありがとうございました。



学習のようす



噴水フルーツポンチ



新聞ドーム



読書ボランティア「紙風船」



お し ら せ

「南郷里歴史講座～南郷里で根付いた文化～」開講！

〈第1回〉 9/10（日）10時～11時30分

『井関家と足柄神社』 鎌倉時代創建の歴史を学ぶ

講師：長浜城歴史博物館 岡本千秋学芸員

〈第2回〉 11/12（日）10時～11時30分

『近江国宮川藩』 江戸の元禄から170年続いた藩の歴史を学ぶ

講師：長浜城歴史博物館 井並悦子学芸員

●会場：南郷里まちづくりセンター

●定員：各回40名 どなたでもご参加ください

●申し込み：1回ずつの申し込みも可

9/17（日）南郷里ポッチャ大会

パラリンピック正式種目“ポッチャ”は、しょうがいの有無関係なく誰でも楽しめるスポーツで、陸上のカーリングのような競技です。上位チームには賞品が！ぜひ皆さまお誘い合わせでご参加ください。

●会場：南郷里小学校 体育館

●時間：12時30分受付 13時開始 16時30分終了予定

●1チーム3～6名でお申し込みください

●水分・タオル・上靴持参、運動しやすい服装でお越しください

老若男女どなたでも！



初めてでも大丈夫！

文化と健康・スポーツ部会

南郷里フェスティバル2023の展示作品を募集します

10月20日（金）・21日（土）・22日（日）の3日間、南郷里フェスティバルを実施します。さまざまな作品を募集しています。

ぜひこの機会に、皆さまの作品を展示してください！

お申し込みをお待ちしております。

●会場：南郷里まちづくりセンター

●日時：10月20～22日 9時～17時

●作品搬入などについて、詳細はお申し込み後にお伝えします



申し込み 62-0287（南郷里地域づくり協議会）

集 楽 まちセン紹介

“集まって楽しむ”
まちセン活動を紹介します

03

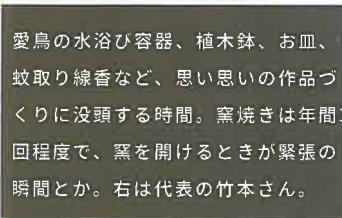
和気あいあいと、工作室で、お皿、アクセサリ、箸置き、表札など思い思い作品を作っておられるのは陶芸愛好会の皆さん。

元々は平成18年、小足新町で、信楽出身の方を中心に発足した陶芸サークルでした。当時は作品を焼く窯がなく、神照公民館で焼かせてもらっていましたが、南郷里公民館が建て替えられたとき、念願の専用の窯が設置され、南郷里地域の人が集まれる愛好会になったのです。

サークルの活動時間は毎回2時間。その間に土を練って作品を完成させます。メンバーの作品がある程度たまったらまずは素焼き、その後釉薬で色付けしてよいよ本焼きです。「釉薬は思い通りの色がでないと、ときにははがっかりすることもあるけれど、どんな色で仕上がるか毎回ドキドキ。これが陶芸の楽しみのひとつです」と代表の竹本さん。

現在メンバーは7名。専門の先生はいないので、互いに教え合って気楽に活動しています。会費のほか、土代はひと塊りわずか100円なので、意外と費用は掛かりません。世の中にひとつしかないものを作る魅力あるサークルに、興味のある方は是非お問い合わせください！

（取材/樋口幸永）



愛鳥の水浴び容器、植木鉢、お皿、蚊取り線香など、思い思いの作品づくりに没頭する時間。窯焼きは年間3回程度で、窯を開けるときの緊張の瞬間とか。右は代表の竹本さん。



陶芸愛好会

活動日 第1・第3金曜日
9時30分～11時30分